

憲法変えるな 政治変えよう

「自衛隊と書くだけ」？
海外での武力行使 無制限に

憲法9条は、1項「戦争放棄」の保障として、2項で「戦力の保持の禁止」を明記。「戦力」ではないから、「海外派兵」「集団的自衛権」「武力行使が目的の国連軍参加」はできない——歴代自民党政権は、国民

にこの説明し続けてきました。首相のいうように、1項、2項に加えて3項で、「自衛隊」と書いたらどうなるか。自衛隊が2項の制約にしばられず、役割を際限なく拡大する扉がひらかれます。

9条2項「戦力不保持」を空文化

9条2項は、今や国家国民の生存を妨げる障害物。…自衛隊を明記した第3項を加えて2項を空文化させるべきである。



日本政策研究センター
小坂実研究部長

●右翼団体の提案を丸のみ

「ねえ、これは『2項の空文化』だ——安倍首相と深い関係にあるウルトラ右翼集団「日本会議」系の人物（上参照）もハッキリ語っています。平和憲法の魂を失わせる安倍改憲は絶対に許せません。

改憲案「臨時国会に提出したい」

内閣支持率急落のもと、安倍首相は改憲について「スケジュールありきではない」とトーンダウンさせました。しかし改憲日程を撤回した訳ではありません。

秋の臨時国会に自民党改憲案提出、来年の改憲発議、2020年に改憲施行——こ

自民副総裁が表明

の予定について、自民党改憲案のとりまとめ役である高村正彦・自民党副総裁は、「最初からスケジュールを放棄するのはよくない」とし、臨時国会への自民案提出について「できればそうしたい」（15日、時事通信インタビュー）とのべました。



改憲をあとおし——公明・維新

●「1項、2項を残したまま自衛隊を明記する方法もある」（斉藤鉄夫公明党幹事長代行・NHK「日曜討論」5月14日放送）

●「（改憲の）先兵として戦っていく役割を担いたい」（維新・小沢党憲法改正推進委員会会長・5月6日「毎日」）

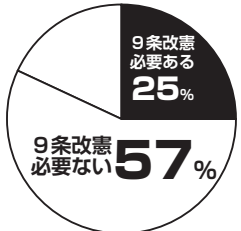


（左から）自由党・小沢一郎氏、同代表、民進党・蓮舫代表、日本共産党・志位和夫委員長、社民党・吉田忠智代表 6月8日

9条改悪反対で一致

共産、民進、自由、社民の4野党は安倍首相の改憲宣言に対し、「安倍政権の下での憲法9条改悪に反対する」ことで一致。次期総選挙については、安倍政権打倒をめざして「できる限りの協力」、「協議の加速」などに合意しています。

4野党党首会談



NHK世論調査(4月29日)より

「9条は日本の平和に役立つ」という人はNHK調査で82%でした。国民は平和憲法を高く評価しています。

「9条改悪必要ない」
過半数

現実を憲法に合わせよ

河野洋平元衆院議長・元自民党総裁 「憲法は現実に合わせて変えていくのではなく、現実を憲法に合わせる努力が先ではないか」（都内の講演で）

日本共産党